

■ 共同研究班の概要 Summary of the Joint Research Group

班	班員公募班（B班）
Group Category	Type B Groups (Researchers Public Offering)
設置期間	2025年4月～2028年3月
Period of Activity	April 2025 – March 2028
研究課題名	記憶と身体的人文科学－非言語媒体の表現による体験的記憶継承の可能性を求めて
Research Topic	A Humanities Approach to Memory and the Body : Exploring the possibilities of experiential memory transmission through non-verbal media expression
研究目的の概要 （400字程度）	音・色・形といった非言語媒体による記憶の表現、身ぶりや動作の身体性、感情や情動、そしてそれらと結びついたモノや空間は、目に見えない/曖昧な/感覚的な対象ゆえに看過されがちであったが、歴史学や文化人類学など人文科学の各分野で近年注目度が高まってきている。本研究班では、芸術学、人類学、社会学、歴史学などさまざまな分野の知見を総合し、身体や感覚による体験を介して、記憶を社会の中で共感的に共有してゆくことの可能性や課題などを領域横断的に検討することで、広く人文科学諸分野に新たな知をもたらすことを目指す。 この研究の背景として、戦争体験者の生存者の減少という喫緊の問題が挙げられる。私たちは今、第二次世界大戦の「生き証人」たちの声を聞くことのできる時代とそれ以後の時代との境界線に立ちっており、オーラルヒストリーの収集の限界やポスト体験時代の記憶継承が社会の大きな課題として立ちはだかる傍らで、記憶とは、そして記憶の所有者の肉体の喪失とは何を意味するかについて今一度立ち止まって検討する必要があるのではないだろうか。身体の有無によって何が変わるのか、あるいは身体を通した記憶の伝承の機能・役割・意義・可能性とは何か。これらをさまざまな分野の具体的な事例を元に紐解きながら検討する。
Summary of Objectives (Approx. 400 characters)	The expression of memory through non-verbal media such as sound, color, and form, the corporeality of gestures and movements, emotions and feelings, and their connections to objects and spaces has often been overlooked due to their intangible, ambiguous, and sensory nature. Recently, however, the significance of these elements has garnered increasing attention in various disciplines of the humanities, including history and cultural anthropology. This research group synthesizes insights from art studies, anthropology, sociology, and history to examine the possibilities and challenges of empathetically transmitting memory within society via embodied and sensory experiences. A critical impetus for this study is the dwindling number of war survivors. Positioned at the threshold between the era of living witnesses of World War II and a post-experiential epoch, society confronts urgent questions regarding the limitations of oral history and the continuity of memory. By interrogating these issues through interdisciplinary case studies, this research seeks to uncover the significance and potential of embodied memory transmission.
研究会開催予定等	年10回 13:00-16:00
Planned Meetings, etc.	10 Times / Year, 13:00-16:00

■ 班員名簿 Member List

最終更新日：2025年6月11日
Last Update: June 11, 2025

Nº	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 （30字程度）
Nº	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
1	班長	森谷 理紗	所内	・特定准教授	芸術学/音楽学	歌・絵画による戦争の記憶の表現の検討
2	副班長	酒井 朋子	所内	・准教授	文化人類学	手芸による政治暴力の記憶の表現
3		石井 美保	所内	・教授	文化人類学	沖縄本島南部の戦争体験の調査・戦争関連史料の分析
4		直野 章子	所内	・教授	社会学	戦争のトラウマ記憶の検討
5		岩谷 彩子	学内（法人内）	人間・環境学研究科・教授	文化人類学	ルーマニアのロマの家屋と音楽の検討
6		ミツヨ・ワダ・マルシアーノ	学内（法人内）	文学研究科・教授	美学・芸術論、映画	映画と身体性の検討
7		アンドレア デ・アントーニ	学内（法人内）	人間・環境学研究科・特定准教授	文化人類学/宗教学	憑依・記憶・身体化・情動
8		前田 しほ	国立大学	島根大学 法文学部・准教授	文学、ジェンダー	ソ連の戦争記念碑と記憶の検討

№	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
№	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
9		石岡 丈昇	私立大学	日本大学文理学部社会学科 ・教授	比較社会学、身 体文化論	ピエール・ブルデューの社会理論における身体と記憶の検討
10		宇田川 彩	私立大学	東京理科大学 教養教育研究 院・講師	文化人類学、ユ ダヤ学	南米のディアスポラおよびイスラエルのユダヤ人の食・儀礼と 記憶の検討